

ときわ病院理念

明るく開かれた精神科医療をめざし、「人権擁護の精神」を尊重し、
社会福祉法人としての伝統と人間愛の精神をもって運営します。



ときわだより 第27号(新年号)

〒921-8834 野々市市中林4丁目123番地
TEL(076)-248-5221(代表)

〈 令和6年 新年のごあいさつ 〉

まず初めに、1月1日に発生した能登半島地震により亡くなられた方々に黙祷を捧げます。被災地が少しでも早く復興できますよう願っております。

地震発生時は、金沢市内でも立ってられない程の横揺れを感じました。ときわ病院には直接的な被害はありませんでしたが、職員一名が能登で被災し帰宅困難になっており、心配しています。精神科関係では、災害派遣精神医療チームが2日に始動し、岡宏医師(医王ヶ丘病院の理事長)からは、被災地では雨具や食料、寝る所や水も無い状況だとの連絡がありました。日精協支部からは、被災地にいる認知症患者の受け入れ体制のことや、長期的に見てPTSDの増加が懸念されるため、その対応が必要になるとの話がありました。過酷な環境の中でも、物の見方や考え方を変えてみたり、うまくストレスを処理するという事が必要になってくるかも知れません。適応の仕方も色々ありますが、大きく3つに分けた場合、1つ目は、頑張り過ぎず何とかかなると思って過ごす方法。2つ目は、何があってもとにかく頑張るという方法。3つ目は、自分も少しずつ変革しながら周りを変えて行く、自ら周りに働きかけて良くして行くという方法があります。



日頃から環境の変化に対して少しずつでも見方を変えてみたり、別の考え方がないかを探ることによって、うまく適応していける可能性が増えるのではないかと思います。皆様の今年のメンタルヘルスが健全で、それぞれの職務を全うされますよう祈りまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

ときわ病院 院長 炭谷 信行